

(様式第9)

新大医歯病医第75-1号
平成21年10月2日

厚生労働大臣

殿

病院長 畠山勝

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告し
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	78人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	479人	38人	490.6人	看護業務補助	5人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	195人	0人	195.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	69人
薬剤師	49人	0人	49.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	1人
助産師	27人	0人	27.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	685人	24人	702.6人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	6人	4人	9.0人	栄養士	0人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	11人	4人	14.0人	歯科技工士	6人	事務職員	137人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	15人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	691.8人	31.8人	723.7人
1日当たり平均外来患者数	1444.1人	602.6人	2046.6人
1日当たり平均調剤数	1177.5剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋腫核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	14人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	40人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	26人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	50人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	75人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	73人
・多発性硬化症	59人	・ウェゲナー肉芽腫症	13人
・重症筋無力症	113人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	63人
・全身性エリテマトーデス	328人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	3人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	30人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	178人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	60人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	244人	・重症急性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	53人	・特発性大腿骨頭壊死症	91人
・結節性動脈周囲炎	35人	・混合性結合組織病	43人
・潰瘍性大腸炎	202人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	41人	・特発性間質性肺炎	16人
・ピュルガー病	17人	・網膜色素変性症	29人
・天疱瘡	33人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	60人	・原発性肺高血圧症	15人
・クローン病	65人	・神経線維腫症	28人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・パーキンソン病関連疾患	77人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	13人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	7人
・後縦靭帯骨化症	57人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	昨年度開催 11回		
剖検の状況	剖検症例数	29 例	剖検率 8.4 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心筋梗塞の急性期患者に対するエボエチンペーパ投与による心機能改善効果に関する研究	相澤義房	第一内科	2,000,000円	補 委	財団法人新潟医学振興会
難治性血管炎に対する血管再生療法の実施共同研究	相澤義房	第一内科	2,000,000円	補 委	厚生労働省難治性疾患克服研究事業
重症下肢虚血性患者に対する体外増幅赤芽球移植療法の第1・第2相試験	鳥羽 健	第一内科	2,400,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
間質性肺炎の急性増悪における凝固線溶系の関与	寺田 正樹	第二内科	1,040,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
糸球体腎炎における新しい機能分子の同定と臨床応用	坂爪 実	第二内科	1,850,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
シロリムスによるリンパ脈管筋腫症の第Ⅲ相国際共同臨床試験	中田 光	第二内科(生命科学医療センター)	72,000,000円	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
消化器疾患へのLI-cadherinの関与とその分子機構の解明	高村 昌昭	第三内科	2,600,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
SDF-1の血管再構築能向上作用に基づく肝幹細胞からの効率のよい肝再生を目指して	土屋 淳紀	第三内科	3,610,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
うつ病の薬物治療反応性及び難治化を予測する生物学的要因に関する分子薬理ゲノム研究	鈴木 雄太郎	精神科	1,690,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
スペクトロスコピー・ゲノミクス:脳代謝物を中間表現形とした統合失調症のゲノム研究	北村 秀明	精神科	1,170,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
新規抗精神病薬の治療反応性及び副作用予測に関する薬理ゲノム学的研究	澤村 一司	精神科	4,370,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
周産期にヨード過剰を受けた高TSH血症患児の長期的な甲状腺機能の検討	長崎啓祐	小児科	500,000円	補 委	財団法人森永奉仕会
小児重症成長ホルモン分泌不全症と非アルコール性脂肪肝炎の検討～成長ホルモン補充による肝線維マーカーの変動～	長崎啓祐	小児科	500,000円	補 委	財団法人成長科学協会
慢性糸球体腎炎の進展機序におけるマクロファージの機能解析	池住 洋平	小児科	2,140,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
シュリンクフィット法を用いた極低侵襲レーザー治療機器の基礎的研究	坂村 律生	形成外科	600,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 萌芽研究
チタン形状記憶合金ステントを用いた気管欠損部閉鎖法の開発	窪田正幸	小児外科	2,000,000円	補 委	地域イノベーション 創出総合支援事業
日本人の緑内障に対するより有効な予防と治療 臨床的・基礎的エビデンスの確立	阿部春樹	眼科	5,000,000円	補 委	厚生労働省

水俣病研究事業 アクアポリン-4の中樞神経疾患への関与一視神経疾患をモデルとした研究(2)	阿部春樹	眼科	2,000,000円	補 委	新潟県
音響外傷後の創傷治癒過程における蝸牛内サイトカイン発現	佐藤 邦広	耳鼻咽喉科	1,650,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
内耳障害による大脳聴覚野周波数マップの可塑性	高橋 邦行	耳鼻咽喉科	767,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)
嗅神経細胞の再生、および再生母細胞に関する組織学的研究	野村 智幸	耳鼻咽喉科	2,759,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)
遺伝子不安定性の機能解析及び遺伝子変異推測モデルの構築による乳癌卵巣癌ハイリスクキャリアの同定と発症予防法の確立	田中憲一	産科婦人科	25,200,000円	補 委	国立がんセンター
周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究	田中憲一	産科婦人科	11,000,000円	補 委	厚生労働省
エイズ分野国際保健医療協力の国際連携について	田中憲一	産科婦人科	4,020,500円	補 委	国立国際医療センター
病理組織検査	田中憲一	産科婦人科	17,261,004円	補 委	新潟市
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	田中憲一	産科婦人科	1,278,000円	補 委	新潟県
家族性乳癌卵巣癌の発症に関与する原因遺伝子の同定	関根 正幸	産科婦人科	4,390,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
糖尿病ラット脊髄後角細胞の可塑性変化の電気生理学的解析	若井 綾子	麻酔科	1,300,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
多系統萎縮症の病理学的強調部位を決定する分子遺伝学的要因の検討	小澤鉄太郎	神経内科	796,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
粘膜免疫から多発性硬化症の病態制御因子を探究する	河内 泉	神経内科	4,020,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
血栓溶解療法と新規神経保護薬リチウム	高橋 哲哉	神経内科	2,610,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)
新潟県内の疫学的研究に基づいた月経喘息の臨床および生化学・遺伝学的研究	長谷川 隆志	医科総合診療部	1,170,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
アスリートを対象とした運動誘発性喘息の診断とその治療効果	鈴木 榮一	医科総合診療部	4,220,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
下顎骨延長術の治療期間を短縮する	小林 正治	口腔再建外科診療室	1,430,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯の移植の拡大適応のため、凍結保存歯の歯根膜を有効に再生させる	泉 直也	口腔再建外科診療室	2,700,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
脂肪組織の間葉系幹細胞を用いて組織工学的に作製した培養骨による顎骨再生をめざして	小野 由起子	口腔再建外科診療室	1,840,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)

顔の非対称度を規定するものは何か？—アイトラッキング法による分析—	小池 朋江	口腔再建外科診療室	650,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯の移植において多血小板血漿はどのように歯周組織を再生させるか	新美 奏恵	口腔再建外科診療室	3,630,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
培養複合口腔粘膜の粘膜再生における成長因子の役割	中西 義崇	口腔再建外科診療室	3,590,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
下歯槽神経障害に対するリコンビナント神経栄養因子の再生促進効果	安島 久雄	顎顔面外科診療室	1,820,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜の治癒機転を解明する	小山 貴寛	顎顔面外科診療室	2,640,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
口腔粘膜癌におけるケラチン発現プロファイルを制御する分子機構	小林 孝憲	顎顔面外科診療室	3,870,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
ストレスが顎関節滑膜表層細胞の分化とカポラ形成に与える影響	庭野 将広	顎顔面外科診療室	3,710,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
P53ノックアウトマウスを用いた新規口蓋裂感受性遺伝子の検索	児玉 泰光	顎顔面外科診療室	3,280,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
顎関節組滑膜組織の退行性変化とその誘発。進行因子の解析	池田 順行	顎顔面外科診療室	3,430,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
学童に対するリスク診断に基づく歯肉炎予防管理プログラムの構築	佐久間 汐子	予防歯科診療室	1,510,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
2型糖尿病患者の抗動脈硬化に対する抗菌的歯周治療の有効性に関する無作為化比較試験	小川 祐司	予防歯科診療室	3,980,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
長期コホートによる高齢者の咬合と体力の因果関係の解明	山賀 孝之	予防歯科診療室	1,430,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
自律神経失調による口腔乾燥症における客観的な自律神経機能的評価に関する研究	伊藤 加代子	加齢歯科診療室	2,030,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
レーザー照射後の象牙質・歯髄複合体の修復再生過程の免疫組織化学的解析	重谷 佳見	歯の診療室	1,300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
歯の他家移植治療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立	大島 邦子	小児歯科診療室	3,830,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
膜蛋白異常症をもたらす遺伝子・タンパクを指標にしたエナメル質形成機構	河野 承子	小児歯科診療室	1,430,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
萌出中の歯の歯根膜における歯根膜線維芽細胞の特異的分子制御メカニズムの解明	飯澤 二葉子	小児歯科診療室	2,230,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
IM法による破壊様式と定量解析を併用した超微小領域エナメル質の力学的特性評価	坂井 幸子 (林 幸子)	小児歯科診療室	3,610,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)

再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の企画化に関する研究	吉江弘正	歯周病診療室	2,000,000円	補委	厚生労働省
高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発	川瀬知之	歯周病診療室	100,000円	補委	科学技術振興機構
硬組織再生を目的とした培養骨膜シートに対する凍結保存技術の開発	小神浩幸	歯周病診療室	150,000円	補委	日本学術振興会
移植用骨膜培養に特化したコラーゲン特殊コーティングされた基材の開発	奥田一博	歯周病診療室	2,000,000円	補委	科学技術振興機構
歯周病・膠原病のリスク遺伝子多型分類に基づくRNA発現とタンパク同定	吉江弘正	歯周病診療室	6,240,000円	補委	日本学術振興会
フィブリノゲン遺伝子多型は歯周病炎症発症の有力なリスクファクターになり得るか？	両角俊哉	歯周病診療室	1,950,000円	補委	日本学術振興会
早産への歯周炎の関与を解明する遺伝学的研究	杉田倫子	歯周病診療室	2,210,000円	補委	日本学術振興会
フィブリノゲン遺伝子多型は歯周炎発症の有力なリスクファクターになり得るか？	両角 俊哉	歯周病診療室	1,950,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯肉増殖症の歯肉におけるMMPs/TIMPsのバランス	中曾根 直弘	歯周病診療室	3,750,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
胎盤における歯周病細菌特異的Ig輸送についての検索	長谷川 朋子	歯周病診療室	2,942,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)
歯槽骨組織を用いた早期骨粗鬆症診断法の確立—骨粗鬆症分野への歯科的貢献—	田中 みか子	義歯(入れ歯)診療室	4,350,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
下顎窩の形態と顎運動との関連性を探る	細貝 暁子	義歯(入れ歯)診療室	2,890,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
統一モデリング言語による顎顔面非対称症例の客観的表記方法の開発とその臨床応用	越知 佳奈子	矯正歯科診療室	1,980,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
生体親和性材料開発のための修復物の磨耗量と咬合力に関する研究	石崎 裕子	歯科総合診療部	2,300,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯科インプラントの生物学的安定性に関する検索	藤井 規孝	歯科総合診療部	2,210,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯周炎感受性に関与するFcεレセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析	小林 哲夫	歯科総合診療部	2,630,000円	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)

制御性細胞の歯周炎病態への関与—慢性化メカニズムを探る—	中島 貴子	歯科総合診療部	2,080,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
アンテリアガイドランスと咀嚼運動の関連性	田島 卓	顎関節治療部	3,510,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
培養骨膜によるインプラント適応拡大に向けた臨床骨再生	星名秀行	インプラント治療部	150,000円	補 委	日本学術振興会
培養骨膜によるインプラント適応拡大に向けた臨床骨再生	星名 秀行	インプラント治療部	3,980,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
ファーロー法による二段階口蓋形成手術法実施症例の長期言語成績について	寺尾 恵美子	言語治療室	1,650,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
磁気共鳴脳槽撮影を用いた内耳の信号変化の検討～聴神経鞘腫と髄膜腫は鑑別可能か～	石川 和宏	放射線部	650,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
マルチスライスCTによる微小肺結節の病理組織推定法に関する研究	石川 浩志	放射線部	910,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
長期透析合併症のゲノクス・プロテオミクス解析による機序解明	風間 順一郎	集中治療部	6,240,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
疾患関連遺伝子発見のための症例対照研究における統計学的問題とその解決策の検討	赤澤 宏平	医療情報部	5,330,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
特発性肺胞蛋白症における免疫変容の体系的な研究	中田 光	生命科学医療センター	17,980,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
抗VEGF自己抗体制御による再発的肺癌治療・予防法の開発	吉澤 弘久	生命科学医療センター	1,820,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
トロンボキサン受容体を介する血小板機能の制御—臨床例からのアプローチ	布施 一郎	生命科学医療センター	1,560,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
GM-CSF中和能の継続アッセイ法の確立	中田 光	生命科学医療センター	3,200,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 萌芽研究
肝細胞核内因子(HNF4 α)の生物学的解析と病理応用	梅津 哉	病理部	3,250,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
唾液腺多形性腫瘍の低酸素環境における増殖機構	丸山 智	病理検査室	3,354,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
医学・医療における地理情報システム(GIS)の応用と普及に関する研究	鳥谷部 真一	危機管理室	3,380,000円	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)

計 16
合計 86

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation 2008年4月	A post-QRS potential in Burgada syndrome: its relation to electrocardiographic pattern and possible genesis.	Aizawa Y, Chinushi M, et al.	第一内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Evaluation of channel function after alteration of amino acid residues at the pore center of KCNQ1 channel.	Ikrar T, Hanawa H, Aizawa Y, et al	第一内科
Hum. Mutat. 2008年2月	Novel mutations of the GLA gene in Japanese patients with Fabry disease and their functional characterization by active site specific chaperone.	M. Shimotori, H. Maruyama, G. Nakamura, T. Suyama, F. Sakamoto, M.	第二内科
p103-122,2008,A John Wiley & Sons, inc.,New Jersey	Nonviral Gene Delivery Systems. Concepts in genetic medicine, Boro Dropulic and Barrie Carter eds.	Suda T, Liu D.	第三内科
Acta Medica et Biologica 2008; 56: 1-9	Regular Exercise Improves Insulin Sensitivity, Physical Activity, and Psychosocial Status in Patients with Chronic Liver Diseases	Kobayasi M, Suda T, et al	第三内科
Mol Ther 2008; 16: 1098-1104	Computer-assisted Hydrodynamic Gene Delivery.	Suda T, Suda K, Liu D.	第三内科
Dig Dis Sci. 2008	Serum Alpha-Fetoprotein Levels During and After Interferon Therapy and the Development of Hepatocellular Carcinoma in Patients with Chronic Hepatitis C.	Tamura Y, yamagiwa S et al	第三内科
Mol Ther 2009; 17: 491-9	Image-guided, Lobe-specific Hydrodynamic Gene Delivery to Swine Liver.	Kamimura K, Suda T, et al	第三内科
Hepato Res 2009; 39: 325-340	Progress toward liver-based gene therapy.	Suda T, Kamimura K, et al	第三内科
Endocr J 2008年10月	Mutation of a Gene for Thyroid Transcription Factor-1 (TTF1) in a Patient with Clinical Features of Resistance to Thyrotropin	Nagasaki Keisuke, et al.	小児科
Pediatr Nephrol 2008年4月	Use of mizoribine as a rescue drug for steroid-resistant pediatric IgA nephropathy.	Ikezumi Yohei, et al.	小児科
Biochem Biophys Res Commun 2008年11月	Activated macrophages down-regulate podocyte nephrin and podocin expression via stress-activated protein kinases.	Ikezumi Yohei, et al.	小児科
Virus Genes 2008年8月	Knockdown of synapse-associated protein Dlg1 reduces syncytium formation induced by human T-cell leukemia virus type 1.	Yoshida Sakiko, et al.	小児科
Pediatr Nephrol 2009年3月	Hyponatremia due to an excess of arginine vasopressin is common in children with febrile disease.	Hasegawa H, et al	小児科
臨床整形外科 43	特異的遺伝子転座を認めず胞巣状構造を呈した横紋筋肉腫の1例	李貴東、生越章、 窪田正幸	整形外科、小児外科
産婦人科治療 96増刊 2008年4月	新生児外科の進歩	窪田正幸	小児外科
小児外科 40 2008年6月	進行神経芽腫の骨盤神経温存術	窪田正幸	小児外科

J Pediatr Surgery 43	Mother-to-Daughter occurrence of biliary atresia: A case report.	Kobayashi K, Kubota M	小児外科
日本小児泌尿器科学会誌 17	ワークショップ「小児包茎治療について」座長まとめ	林祐太朗、窪田正幸	小児外科
日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌 2008年5月	塩化ビニル手袋中のジオウチル錫ビス及びアジピン酸ポリエステルによる接触皮膚炎の一例	井村倫子	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 2008年8月	皮膚科外来手術患者の術後早期入浴 -手術部位感染との関連についての検討-	高橋明仁	皮膚科
Development	P-cadherin is a p63 target gene with a critical role in the developing human limb bud and hair follicle.	下村 裕	皮膚科
International Immunology 2008年8月	NK cells contribute to the skin graft rejection promoted by CD4+ T cells activated through the indirect allorecognition pathway.	伊藤明子	皮膚科
Contact Dermatitis 2009年1月	Allergic contact dermatitis due to mono(2-ethylhexyl) maleate in di-(n-octyl) tin-bis(2-ethylhexyl maleate) in polyvinyl chloride gloves.	伊藤明子	皮膚科
最新 臨床検査項目辞典 医歯薬出版株式会社 2008年	前立腺特異抗原 前立腺特異抗原・ α 1-アンチキモトリプシン複合体 フリーPSA/トータルPSA比 γ -セミノプロテイン	西山 勉	泌尿器科
Best Practice & Research Clinical Endocrinology & Metabolism 2008年	Intra - prostatic androgen levels during various androgen blockade regimens	Tsutomu Nishiyama	泌尿器科
BJU INTERNATIONAL 2008年5月	Laparoscopic adrenalectomy fo pheochromocytoma : evaluation and strategy at a single institute	Takashi Kasahara	泌尿器科
International Journal of Urology 2008年4月	Perioperative antibiotics in radical cystectomy with ileal conduit urinary diversion : Efficacy and risk of antimicrobial prophylaxis on the operation day	Noboru.Hara	泌尿器科
あたらしい眼科 2008年5月	95. 各種眼圧計の測定原理	八百枝潔	眼科
Neuro-Ophthalmology 2008年6月	Pituitary Adenoma Manifesting as an Isolated Abducens Palsy	Atsushi Miki	眼科
眼科 2008年8月	1. 視神経炎の診断	高木峰夫	眼科
Neuro-Ophthalmology 2008年8月	Magno-and Parvocellular Visual Cortex Activation in Anisometropic Amblyopia, as Studied with Functional Magnetic Resonance Imaging	Atsushi Miki	眼科
眼科 2008年9月	視神経乳頭周囲網脈絡膜萎縮	福地健郎	眼科
眼科 2008年9月	網膜神経線維層欠損	福地健郎	眼科
Clinical Ophthalmology 2008年9月	Pupillography of automated swinging flashlight test in amblyopia	Atsushi Miki	眼科
あたらしい眼科 2008年10月	原発開放隅角緑内障 (POAG) の治療と管理は？	福地健郎	眼科
あたらしい眼科 2008年10月	緑内障の眼循環研究の最新情報は？	八百枝潔	眼科
J Pediatr Ophthalmol Strabismus 2008年10月	Pupillography of Relative Afferent Pupillary Defects in Amblyopia Associated With Peripapillary Myelinated Nerve Fibers and Myopia	Atsushi Miki	眼科
Progress in Brain Research	Targeting excitotoxic/free radical signaling pathways for therapeutic intervention in glaucoma	Masaaki Seki	眼科
Jpn J Ophthalmol 2008年11月	Superior Segmental Optic Nerve Hypoplasia in Youth	Mineo Takagi	眼科
臨床眼科 2008年12月	先天白内障に後天的に発症した膜白内障の1例	橋本昌美	眼科

あたらしい眼科 2008年12月	緑内障の治療総論・病型別治療では何が変わったか？	白柏基宏	眼科
あたらしい眼科 2008年12月	線維柱帯切除術の術後管理－レーザー切除術、濾過胞再建術の時期と施行のポイントは？	上田 潤	眼科
Current Eye Research 2009年1月	Oxidative Stress Markers in Aqueous Humor of Patients with Senile Cataracts	Hideko Sawada	眼科
American Academy of Ophthalmology 2009年2月	Laser Scanning Tomography of Optic Disc of the Normal Japanese Population in a Population-based Setting	Haruki Abe	眼科
医学のあゆみ 2009年2月	抗アクアポリン－4抗体陽性視神経炎	高木峰夫	眼科
神経眼科 2009年3月	「画像診断入門」その1	三木淳司	眼科
Experimental Eye Research	BDNF-treated retinal progenitor sheets transplanted to degenerate rats: Improved restoration of visual function	Magdalene J. Seiler, Biju et al	眼科
Jpn J Ophthalmol	A Case of Osteopetrosis with Acute Optic Neuropathy	Tsushida H, Takagi M, Miki A, Usui T, Hasegawa S, Abe H	眼科
Neuroscience Research 60(4) 2008年4月	Transcranial photo-inactivation of neural activities in the mouse auditory cortex	窪田 和	耳鼻咽喉科
Laryngoscope 118(10) 2008年10月	Acoustic Trauma Augments the Cochlear Immune Response to Antigen	宮尾益道	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 34(4) 2008年4月	当科における聴器癌症例の検討-治療法と予後の関係を中心に-	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 101(5) 2008年5月	頸部郭清術の臨床統計	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報59(4) 2008年4月	当科音声外来19年間の疾患分布と音声機能検査成績の検討－声帯結節症例を中心に－	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
JOHNS 24(5) 2008年5月	機能性難聴診断のための聴覚検査	佐藤 斎	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報60(3) 2009年3月	当科におけるEjnell法による声門開大術施行症例の検討	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
臨床放射線 Vol.53 2008年10月	内耳の先天性奇形	石川和宏	放射線科
臨床放射線 Vol.53 2008年10月	内耳神経・顔面神経疾患	石川和宏	放射線科
Drug Delivery	Enhancement of Gene Liposomes on Ovarian	Takahiro Serikawa et al	産婦人科
Journal of Obstetrics And Gynaecologic Rsearch	Perinatal magnetic resonance fetal liver signal intensity ratio for prediction congenital diaphragmatic hernia and of the lung	Mitsuru Matsushita et al	産婦人科
American Journal of Reproductive Immunology	Studies on the compatibility patient couples with severe methods	Izumi Ooki et al	産婦人科
Journal of Obstetrics And Gynaecologic Rsearch	Cigarette Smoking and Polymorphism Associated with Risk for	Koji Nishino et al	産婦人科
J Neurology Neurosurgery & Psychiatry 2008年9月	Facial never motor-evoked potential monitoring during skull base surgery predicts facial nerve outcome	福多真史	脳神経外科
J Neurosurg 2008年9月	Cranial nerve palsy following transvenous embolization for a cavernous sinus dural arteriovenous fistula: association with the volume and location of detachable coils	西野和彦	脳神経外科

Childs Nerv Syst 2008年5月	Intrathecal chemotherapy for refractory disseminated medulloblastoma	吉村淳一	脳神経外科
Acta Neurochir(Wien) 2008年8月	Cranial base chordoma-long term outcome and review of the literature	米岡有一朗	脳神経外科
J Neuroimaging 2008年8月	Tract-by-tract morphometric and diffusivity analyses in vivo of spinocerebellar degeneration.	Terajima K, Matsuzawa H, Shimohata T, Akazawa K, Nishizawa M, Nakada T	神経内科
J Clin Periodontol	Longitudinal study on the relationship between serum albumin and periodontal disease	岩崎正則	予防歯科
Osteoporosis Int	Relationship between mandibular inferior cortex and general bone metabolism in older adults	出口知也	予防歯科
Arch Oral Biol	Salivary spinability and periodontal disease progression in an elderly population	廣富敏信	予防歯科
J Clin Periodontol	Effect of antimicrobial periodontal treatment and maintenance on serum adiponectin in type 2 diabetes mellitus	松本沙耶香	予防歯科
Oral Dis	Relation of bone turnover markers to periodontal disease and jaw bone morphology in elderly Japanese subjects	葭原明弘	予防歯科
口腔衛生会誌	地域在住高齢者に対する口腔機能向上事業の有効性	金子正幸	予防歯科
International Journal of Periodontics and Restorative Dentistry 2008年5月	Root coverage with cultured gingival dermal substitute composed of gingival fibroblasts and matrix:a case series.	Maruta M et al	歯周病診療室
Journal of Periodontology 2008年5月	Tissue-engineered cultured periosteum used with platelet-rich plasma and hydroxyapatite in treating human osseous defects.	Yamamiya K et al	歯周病診療室
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine 2009年3月	Characterization of human cultured periosteal sheets expressing bone-forming potential : in vivo and in vitro animal studies.	Kwase T et al	歯周病診療室
Journal of Dental Research 2009年3月	Odontogenic potential of post-natal oral mucosal epithelium.	Nakagawa E et al	歯周病診療室
Journal of Periodontology 2009年2月	Effects of ascorbic acid on gingival melanin pigmentation in vitro and in vivo.	Shimada Y et al	歯周病診療室
Journal of Clinical Periodontology 2008年11月	Effects of treatment on soluble tumor necrosis factor receptor type 1 and 2 in chronic periodontitis.	Ikezawa-Suzuki et al	歯周病診療室
Journal of Periodontal Research 2008年12月	Lower antibody response to Porphyromonas gingivalis associated with immunoglobulin G Fcγ receptor IIB polymorphism.	Honma Y et al	歯周病診療室
International Journal of Immunogenetics 2008年12月	Association of interleukin-1 receptor antagonist+2018 gene polymorphism with Japanese chronic periodontitis patients using a novel genotyping method.	Komatsu Y et al	歯周病診療室

Clinica Chimica Acta	Up-regulation of the endoplasmic reticulum stress-response in periodontal disease	Hisanori Domon, Naoki Takahashi, Tomoyuki Honda, Takako Nakajima, Koichi Tabeta, Yoshimitsu Abiko, Kazuhisa Yamazaki	歯周病診療室
International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery 2008年11月	Postoperative stability of bimaxillary surgery in Class III patients with mandibular deviation: A frontal cephalometric study.	Talat Al-Gunaid, Kazuhiro Yamada et al	矯正歯科診療室
Europ J Dent Education	Balancing the role of the dental school in teaching, research and patient care; including care for underserved areas	W.P. Holbrook, P. Brodin, I. Balciuniene, et al	矯正歯科診療室
Am J Orthod Dentofacial Orthop	Dental arch widths and mandibular-maxillary base widths in Class III malocclusions from ages 10 to 14	Fengshan Chen, Kazuto Terada, Luyi Yang, Isao Saito	矯正歯科診療室
Orthodontic Waves	Unilateral condylar bone change, inclination of the posterior slope of the articular eminence and craniofacial morphology	Gary A. Estomaguio, Kazuhiro Yamada, Isao Saito	矯正歯科診療室
日本口蓋裂学会誌	片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について	古里 美幸, 森田修一, 朝日藤寿一, 小野 和宏, 高木 律男, 齋藤 功, 齋藤 功	矯正歯科診療室
甲北信越矯正歯科学会雑誌	矯正患者にみられた歯数異常について—1993年から2006年までの臨床統計調査—	中川麻里, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤 功	矯正歯科診療室
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics	Long-term observation of autotransplanted teeth with complete root formation in orthodontic patients	Yohei Watanabe, Tamaki Mohri, Masaki Takeyama, Masaki Yamaki, Takashi Okiji, Chikara Saito, Isao	矯正歯科診療室
日歯教誌	生涯学習能力に対するPBLチュートリアルの効果	小野和宏、八木稔、大内章嗣、魚島勝美、安島久雄、林 孝文、齋藤功、興地隆史、前田健康	矯正歯科診療室
Cleft Palate Craniofacial J	Relapse Tendency in the Maxillary Dental Arch Widths in Unilateral Cleft Lip and Palate Patients with Different Types of Maxillary Arch Form	Talat Al-Gunaid, Toshikazu Asahito, Masaki Yamaki, Kooji Hanada, Ritsuo Takagi, Kazuhiro Ono, Isao Saito	矯正歯科診療室
甲北歯誌	顎変形症患者の外科的矯正治療による心理状態の変化	寺田員人、吉田満、佐野奈都貴、金山 潔、齋藤 功	矯正歯科診療室
日顎変形誌	下顎前突症患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について	永井正紀、小林正治、長谷部大地、加納浩之、五島秀樹、齋藤 功、齋藤 功	矯正歯科診療室

J Bone Miner Metab.	Estrogen deficiency and its effect on the jaw bones.	Ejiri S, Tanaka M, Watanabe N, Anwar RB, Yamashita E, Yamada K, Ikegame M.	矯正歯科診療室
日本口蓋裂学会雑誌	片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について	古里 美幸、森田 修一、朝日藤 寿一、小野 和宏、高木 律男、齋藤 力、齋藤 功	矯正歯科診療室
Ped Dent J, 18(2): 124-130 2008年9月	Lay knowledge and attitudes on the management of traumatically avulsed teeth and the use of mouthguards	Kinoshita-Kawano, S. et al.	小児歯科
Ped Dent J, 19(1): 112-116 2009年3月	The early treatment of unusual severe ectopic eruption of the bilateral maxillary canines in a young Japanese girl: a case report	Hayashi-Sakai, S. et al.	小児歯科
Ped Dent J, 19(1): 136-144 2009年3月	Classification of maxillary canine transpositions in Japanese children: a report of 10 cases	Taguchi, Y. et al.	小児歯科
Proc Natl Acad Sci USA	X-inactivation in female human embryonic stem cells is in a nonrandom pattern and prone to epigenetic alterations.	松野容子	検査部
Ann Clin Biochem	Low adiponectine state is associated with metabolic abnormalities in obese children, particularly depending on apolipoprotein E phenotype.	エルフィー・ワルダニンシー	検査部
Chromosome Nanoscience and Technology	Image database and image analysis of chromosome information.	鳥谷部真一	検査部
Hepatogastroenterology	Hepatic lymph node dissection provides a survival benefit for patients with nodal disease of colorectal carcinoma liver metastas	Toshifumi Wakai	物流センター
Annals of Surgical Oncology	Appraisal of 1 cm hepatectomy margins for intrahepatic micrometastases in patients with colorectal carcinoma liver metastas	Toshifumi Wakai	物流センター
World Journal of Surgery	Combined major hepatectomy and pancreaticoduodenectomy for locally advanced biliary carcinoma: long-term results	Toshifumi Wakai	物流センター

計 11

合計 104

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	新潟大学総括文書管理者 総務部長 増田 宏明
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院 医事課長 坂本 泰敏

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴管理室	新潟大学医歯学総合病院 病院 診療録等関係	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	事務室・書庫	新潟大学医歯学総合病院 調査 調査・報告関係	
	高度の医療の提供の実績	〃		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	〃		
	高度の医療の研修の実績	〃		
	閲覧実績	〃		
	紹介患者に対する医療提供の実績	〃		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	〃		
	確規 保則 の第 9 条 の 2 3 及び 第 1 条 の 1 1 各号に 掲げる 体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	〃	新潟大学医歯学総合病院 調査 調査・報告書
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	〃	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	〃	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		〃		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		〃		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		〃		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃			

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	事務室・書庫
		院内感染対策のための委員会の開催状況	〃
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	〃
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	〃
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	〃
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	〃
			新潟大学医歯学総合病院
			調査
			調査・報告関係

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 畠山勝義
閲覧担当者氏名	総務課長 西川岩雄
閲覧の求めに応じる場所	管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.7%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,054人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,402人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,476人	
	D: 初診の患者の数	21,269人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (27) 名・ 活動の主な内容： 医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため、医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供・ 医療の安全管理に係る教育と研修、部署リスクマネージャーとの連携・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認・ 医療に係る安全管理のための委員会 (医療事故防止委員会) の運営、他	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理に係る病院の基本方針・ 医療安全管理に係る各委員会等の業務と権限・ 医療事故発生時の対応およびインシデント・医療事故の報告方法について・ 各種医療安全管理マニュアル、他	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故の防止対策に関すること・ 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること・ 医療事故の防止マニュアルに関すること、他	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 「医療安全の次なる展開：患者参加の事故防止」・ 「院内における暴言・暴力への対応」・ 「麻薬・向精神薬の安全管理」 「災害医療に学ぶ安全管理」・ 「当院のコードブルーの現状 -第 2 報告-」・ 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業の現況と今後」・ 「ヒューマンファクター工学に基づくヒューマンエラー低減対策と活動」、など	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集・ 医療事象事例の医療事故防止委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備・ 医療事故対策委員会、(調査専門委員会)における事例分析、再発防止の検討、他	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ・ 常に良質な医療の提供にあたって、院内感染防止に努めること。 ・ 当院における感染症の新たな発症や集団発生を防ぐ体制を確保するために、病院全体の名代として感染対策に取り組み、すべての職員がその必要性を認識し自ら率先して実践していくこと。 ・ 医療の質の向上と医療経済の改善に寄与すること。 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： ・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること。 ・ 院内感染の予防対策に関すること。 ・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること。 ・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること。 ・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること。 ・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること。 ・ その他院内感染対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 全職員対象の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「薬剤耐性菌と抗MRSA薬の適正使用について」 ・ 「院内感染巡回審査を実施して」 ・ 「感染対策の最近のトピックス」 ・ 「どう動く？新型インフルエンザ ～広げよう咳エチケット～」 その他：各職種や部署別研修 5回 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、手指消毒薬の払い出し状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施。 ・ サーベイランス情報を活用した病棟ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション）。 ・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施。 ・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂。 ・ 新型インフルエンザ対応体制の整備とマニュアルの作成・改訂・周知。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「麻薬・向精神薬の安全管理」 (同一内容で2回実施) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟および各部署における常備医薬品の適正在庫。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 薬剤情報ステーションVol. 14 No. 3 ~Vol. 15 No. 4 (2ヶ月毎に発刊) 安全の扉 「注射用K製剤の正しい投与方法をご存知ですか?」「だめ、絶対!!麻薬残液すてないで!!」 「注射剤の投与方法に間違いはありませんか?」「再確認!注射薬の投与指示」「注意!!カマの高Mg血症」「インスリン製剤の販売名称が変わる!」「間質性肺炎の発現ご注意!アクテムラ点滴静注用」「エラープループ'新しいKCL」 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 21 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ BLS/AED講習会 ・ 人工呼吸器の安全使用に関して ・ PCPSの使用法 ・ 保育器 ・ 自己血回収装置 ・ パルスオキシメーター 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ MEによる点検及び年1の保守委託 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理部・感染管理部による管理 	